



2026 年 9 月 25 日

各 位

会 社 名 岡本硝子株式会社
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 岡本 毅
(コード番号 7746 東証スタンダード)
問合せ先 財務経理部長 風間 卓
電 話 04-7137-3111

(開示事項の変更) ガラス偏光子の生産能力増強に係る設備投資計画の変更について

当社は、2026 年 6 月 26 日公表「中期経営計画における設備投資計画の一部前倒しに関するお知らせ」において、ガラス偏光子製造設備の設備投資を 2027 年 3 月期及び 2028 年 3 月期の合計で 300 百万円実施する設備投資計画を公表しましたが、本日開催の取締役会で設備投資計画の増額及び 2 拠点化を決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. ガラス偏光子製造設備の投資金額及び実施時期について

【変更前】(2026 年 6 月 26 日開催取締役会決議)

本社工場による 1 生産拠点

フェーズ 2	200 百万円	2027 年 3 月期実施(ガラス延伸装置増設、自動検査機等導入)
フェーズ 3	100 百万円	2028 年 3 月期実施(ガラス延伸装置増設)

【変更後】(2026 年 9 月 25 日開催取締役会決議)

本社工場、新潟岡本硝子株式会社による 2 生産拠点

フェーズ 2	200 百万円	2027 年 3 月期実施(ガラス延伸装置増設、自動検査機等導入)
フェーズ 3	400 百万円	2028 年 3 月期実施(ガラス延伸装置増設、自動検査機等導入)

2. 設備投資計画の変更内容

2028 年 3 月期に実施するフェーズ 3 の設備投資金額を 100 百万円から 400 百万円まで 300 百万円増額し、製造工程の自動化を進めます。

変更前の設備投資計画においては、フェーズ 3 実施後のガラス延伸装置の台数が 2026 年 9 月比で 3 倍となり、月産の生産能力は、3 倍となることを想定しておりました。

変更後の設備投資計画では、新工程による生産ラインの正味稼働時間の拡大、良品率の向上によるスループットの向上、自動検査装置等の導入拡大による省人化等により月間生産量を 2026 年 7 月比で 16 倍とすることを目指します。

また、変更前の設備投資計画では、すべてのガラス偏光子製造設備を本社工場（千葉県柏市）に集中させることを想定しておりましたが、変更後は、BCP の見地から、本社工場と新潟岡本硝子株式会社の 2 拠点体制とすることにいたしました。

なお、今般の設備投資計画の変更は、2028 年 3 月期に実施する設備投資金額の増額であるため、2027 年 3 月期への影響は軽微です。

3. 顧客開拓状況

並行して光トランシーバーメーカーへのデザインインに取り組んでおります。2026 年 9 月に単体長期環境試験に合格し、現在は当社偏光子を組み込んだ顧客モジュールの長期環境試験中（～2026 年 12 月）です。

以上